


鎖国時代の貴重な外交拠点  
朝鮮通信使遺跡 牛窓本蓮寺境内

指定区分	国指定史跡
読みかた	ちょうせんつうしんしいせき うしまどほんれんじけいだい
所在地	瀬戸内市牛窓町牛窓
指定年月日	平成6年10月11日
解説	江戸時代に李氏朝鮮との国交を再開。將軍の就任を祝賀するため来朝した李氏朝鮮の使節団の寄港地。使節団の来朝は、鎖国下の日本にとって、海外との接触を持つ数少ない機会であった。広島県福山市鞆の浦・福禅寺、静岡市清水区興津・清見寺とともに三カ所で指定されている。
アクセス方法	JR邑久駅から車で約15分、両備バス「本蓮寺下」バス停から徒歩1分
公開状況	外観は自由
設備	トイレ 
備考	本蓮寺本堂、番神堂、中門は国の重要文化財にも指定されています。

## きつずページ

していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	朝鮮通信使遺跡 牛窓本蓮寺境内
よみかた	ちょうせんつうしんしいせき うしまどほん れんじけいだい
しょざいち (所在地)	瀬戸内市牛窓町牛窓
していつひ (指定した日)	平成6年10月11日
せつめい	江戸時代(えどじだい)の日本は外国との 交流(こうりゅう)を制限(せいげん)する鎖 国(さこく)を行っていましたが、朝鮮(ちょう せん)とは交流を行っていました。その朝 鮮からの使(つか)いが立ち寄(よ)ってい た場所(ばしょ)のうちのひとつです。